

つながりのなかで知を深めて生かす

人間科学研究所所長

北川 恵

甲南大学人間科学研究所は、一五年にわたる文部科学省の研究助成金を受けて取り組んできた共同研究の新たな展開において、また、学内専任教員（研究所兼任研究員）の退職や新規採用等に伴う研究チームの交代に伴って、大きな過渡期を迎えています。当研究所の特色は、臨床心理学を中心とする実践領域と人文諸科学の各分野にまたがる専門家を抱えているところ、そして長期にわたって学外の専門家（客員特別研究員、研究協力者）や学外機関と連携した共同研究を進めてきた経験を持つところにあります。

前所長の川田都樹子先生のご尽力により、これまでの共同研究成果を現研究体制で発展させるべく、研究実践プロジェクト「現代人の心の危機に関する共同研究～Phase 5～過去と向き合い、未来を創る」を始動し、かつ、甲南学園創立一〇〇周年（二〇一九年四月二二日）を迎えるにあたり本学で開始したKONANプレミア・プロジェクトへの参加を実現していただきました。とりわけ、KONANプレミア・プロジェクト

(KONAN Research & Education)「ひょうご子ども・子育て未来プラン」連携—研究教育プロジェクトを当研究所が全学規模の事業とするために、社会科学や理系分野を含む多様な学部の専任教員を新たに兼任研究員として迎え、博士研究員との協働体制を整備していただきました。

今年度は、当研究所が、領域横断的な専門の知を総合しながら、現代日本社会での重要課題の一つである人口減少問題に貢献するための検討を、大学執行部の先生方と共に行いました。KONANプレミア・プロジェクト（KONAN Research & Education）「ひょうご子ども・子育て未来プラン」連携—研究教育プロジェクトの研究課題を、①「次世代育成施策の地域性の検討」、②「子ども・子育て実践による世代間循環の促進」に整理し、その成果を全学共通科目であるライフプラン教育に展開させることにより、若者が「働き育てることを含むライフプラン」を豊かに描けることを目指した研究実践を展開させていきます。

こうした検討に取り組むなかで、過去から現在にいたる多くの皆様のお力添えのおかげで当研究所の知が育まれ深まってきたことを実感しています。一人一人がもつ専門性の交流や議論を通して、さらに専門性は深まると同時に、より広くに開かれたものになっていきます。また、大学は学生を育てる教育機関であり、学生の研究への参加や、研究成果の教育への展開によ

り、学生にとっての生きた学びになることが目指されます。さらに大学は地域に根差して発展する場ですので、地域に開かれた研究機関として、地域への貢献に努めながら、それによって地域社会に生きた研究を行っていくことも目指されます。

今年も皆様のご協力のもとに当研究所紀要 Vol.105 をお届けできることを嬉しく思っております。この一年の研究活動にご協力・ご参加くださった皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。紀要をお読みくださった先生からの忌憚ないご意見を拝受できれば幸いです。我々一同、研鑽し、つながりのなかで知を深め生かす研究を展開いきたいと思っております。

(きたがわ めぐみ)